



「想像より相談が近道です。」

シアターカフェ代表

林 緑子 氏

開業： 2020年 8月

<https://theatercafe.jp>

Instagram : @theatercafenew

facebook : @nagoya.theatercafe

twitter : @theater_cafe

◆お仕事について教えてください。

弊店はカフェと映像上映を行っています。お茶と映像を楽しめるコミュニティスペースとして、7年間お店を構えた大須商店街から、白壁へ移転しました。現在の場所は、住宅街という地域の雰囲気に合わせて、ご利用者の方にゆっくり過ごしていただける空間を目指して、現在のような靴を脱いで上がる作りになりました。珈琲は、エスプレッソマシンで淹れるオリジナルブレンドです。また、ルイボスティやジンジャーエールなどのソフトドリンクはオーガニックのものを提供しています。上映作品は、自主映画を中心に監督と直接交渉することも多いです。店長の江尻は、実写のドラマ映画を担当し、林は、短編アニメーション作品を担当して、選りすぐりの映像作品をご覧いただけるよう、これまで企画してきました。また、イラストや平面作品を展示できるギャラリースペースも設けています。他には上映作品や映画関連の書籍やパンフレット、ポップカルチャーや現代美術などの書籍も、時期に応じて書架に並べています。

現在の集客は、主にSNSなどの広報が中心となっています。大通りに面しているため、通りかかって、興味を持ってご利用いただけるケースもあります。

◆起業のきっかけは？

運営者の二人ともが、映画や映像が好きだったので、それを生かした個人事業を実施するためです。最初の大須の際は、二人で相談し共同出資して開店しました。以前は江尻が代表、林がディレクターという役割でした。今回は、林がオーナー、江尻が店長という役割に変化しました。その一方、大須での時代と同様にお茶と映像が楽しめる空間としてお客様にくつろいでお楽しみいただける、コミュニティスペースというコンセプトは共通しています。

◆何度もご利用いただきました。相談していかがでしたか？

こちらのわからないことに対して、丁寧な対応で具体的な提案をしてもらえたことがとても良かったです。具体的には、事業内容や経理の側面について教えていただ

きました。例えば、検討中の職種の実情や、どのように事業計画を進めていく必要があるのか経理に使うと便利なソフトウェアやサービスの情報など、きめ細やかな対応をしていただけました。

◆現在の状況をお聞かせください。

現在の弊店は、コロナ禍なので、県や市のガイドラインに沿った営業を実施しています。現在は開業前に実施したクラウドファンディングと売上で運営経費を賄っています。

◆今後の目標は？

今後は、引き続き、常連さん以外にも地域の方に愛され、交流の場としての存在でありたいです。また映画だけでなく、ギャラリーやフリースペースとしても広く活用してほしいと考えています。コロナ禍により、社会状況による制限もあり難しい側面も抱えつつも、できるだけ長く運営できればと考えています。

弊店は、新規オープンがコロナ禍の1年目にかかりました。それによりオープン前は建物のリフォームに時間がかかったり、オープン後は、宣伝や集客が難しかったりする側面もありました。それでも、小規模事業が、このような状況下でがんばっている一つの参考例としても、ぜひご来店いただけますと幸いです。そして、皆様に、庶民の視点から地域参加する場所の一つとして、弊社をご利用いただくことができると考えています。



シアターカフェ店長 江尻 真奈美氏

◆最後に、今後、当センターを利用されたい方にひとことお願いします。

スタッフの方は、親切ですし丁寧に話を聴いてくださります。また、専門知識のある方や実際に起業されている方が担当してくださります。ですので、下手に周囲の友人知人に話すよりも、安心して利用できるのではないのでしょうか。人に話を聴いてもらうことは、自分の考えややりたいことを整理し明確化できます。そのような点からも、一度まず訪れてみることをおすすめします。



【当センターによる経営相談支援の内容】

- 開業手続きの説明
- 融資・補助金申請のための事業計画書作成
- マーケティング（販売促進）
- ホームページ改善
- 経理処理の進め方
- 商標登録の手続き
- 専門家派遣（会計ソフトの使い方）

夢を描き
挑戦し続けるあなたを
応援します！



ホームページ



吹上ホール

公益財団法人名古屋産業振興公社

名古屋市新事業支援センター

に聞きに行こう！

